

周術期等の高度医療を支える歯科医療を 具体的に考えるシンポジウム

2014年1月25日(土)の岡山大学病院周術期管理センター主催、周術期チーム医療人材育成研究会に引き続き、翌日1月26日(日)の午前中、岡山駅近辺の交通至便な会場で本シンポジウムを開催いたします。

昨年に引き続きの開催です。今回は、歯学部を擁する大学病院で、比較的岡山から遠い施設で実務をこなされている先生方に演者としておいいただき、同じような活動をする医療者の交流の機会となればと考えております。

ぜひとも、日本で現在加速しつつある、チーム医療等、高度医療を支える歯科医療を推進する機運を、全国で一丸となってさらに高める機会となればと考えております。各大学病院における特色等の具体的な内容をご紹介頂く予定です。また、がん治療における粘膜障害対策の国際的な潮流—MASCC/ISOO 粘膜障害研究グループ粘膜障害対策ガイドライン2013年改訂版—についてもご紹介させていただきます。

会場のキャパシティの関係で先着順としておりますので、事前登録を必ずお願いいたします。

開催日時: 2014年1月26日(日) 10:00~13:15

場所: 岡山市・オルガホール(岡山駅西口から徒歩約5分)

対象: 実際に周術期等の高度医療に関わる、
また興味のある医療関係者、大学院生、学生等

参加登録: <http://hospitaldentistry.cc.okayama-u.ac.jp/profile2.html>
岡山大学病院医療支援歯科治療部ホームページからお願いします。
参加登録締め切り 2014年1月17日(先着170人)

プログラム

開会の辞 岡山大学病院歯科系代表副病院長・医療支援歯科治療部部長 森田 学

東北大学病院でのがん支持療法における歯科の役割

～歯科医師の役割～

東北大学大学院歯学研究科

細川亮一 先生

～病院 歯科衛生士の役割～

東北大学病院

山崎佐千子先生

～地域連携 歯科衛生士の役割～

東北大学大学院歯学研究科

伊藤恵美 先生

がん治療における粘膜障害対策の国際的な潮流

—MASCC/ISOO 粘膜障害研究グループ粘膜障害対策ガイドライン2013年改訂版—

岡山大学病院

曾我賢彦

東北大学大学院歯学研究科

細川亮一 先生

新潟大学医歯学総合病院のがん口腔管理

～放射線治療・化学療法を中心に～

新潟大学医歯学総合病院 勝良剛詞 先生

～歯科衛生士の取り組み～

新潟大学医歯学総合病院 後藤早苗 先生

岡山大学病院における取り組み

岡山大学病院における周術期の口腔内管理の現状と今後の展開

岡山大学病院

山中玲子

医療連携の場を利用した医療人育成を目的とする歯学教育の推進

岡山大学病院

曾我賢彦

閉会の辞

岡山大学歯学部長 窪木拓男

(ランチョンセミナー等、昼食の準備はございません。)

◆主催:岡山大学病院(歯科系代表副病院長 森田 学)

◆連絡先:岡山大学病院医療支援歯科治療部

岡山大学歯学部(歯学部長 窪木拓男)

担当 曾我賢彦

(主幹:岡山大学病院医療支援歯科治療部)

E-mail: pre-registration@md.okayama-u.ac.jp

◆後援:高度医療を支える口腔管理研究会

本会議の一部は、平成25年度厚生労働科学研究費補助金:歯科介入型の新たな口腔管理法の開発及び介入効果の検証等に
関する研究(24120701)によって行われています。

会場周辺地図



岡山駅西口から北へ徒歩約5分
オルガビルの地下1階